

科目名	リスクマネジメント Risk Management	選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・土・集中※	-	-
担当教員名	加藤 晃	e-mail	
<p><講義の概要と目的></p> <p>米国の有名MBAコースで人気のあるリスクマネジメント講座のテキストを基本として、講義、ディスカッション、演習を行う。なお、日本の法規制や雇用慣行を反映して、より実践的な内容に修正している。</p> <p>リスクマネージャーとして基本的なリスク分析、適切なリスク対策が提言できるようになる。</p>			
<p><講義計画></p> <p>第1回 リスクとその管理 テキスト第1章 (リスクの意味、リスクマネジメントとは何か)</p> <p>第2回 リスクマネジメントの目的 テキスト第2章 (企業価値最大化とリスクコスト、社会的厚生との関係)</p> <p>第3回 リスクの認識と測定 テキスト第3・4章 (確率と統計の基礎、損失の頻度と強度、リスクプーリングと分散)</p> <p>第4回 リスク回避とリスクマネジメント テキスト第9章 (リスク回避と保険需要)</p> <p>第5回 有価証券報告書からリスクを読み解く 演習</p> <p>第6回 リスクの保険可能性、保険条項および法理 テキスト第10章 (保険可能性を制限する要因、法理)</p> <p>第7回 ロス・コントロール テキスト第11章 (ロス・コントロールの種類、便益とコスト)</p> <p>第8回 株主の富 テキスト第13章 (機会費用、キャッシュフロー) 中間テスト</p> <p>第9回 リスク保有・軽減 テキスト第15・18章 (リスク保有・軽減の意思決定、キャプティブ)</p> <p>第10回 企業向け保険契約 テキスト第16・21章 (控除免責、財産保険、賠償責任保険、その他)</p> <p>第11回 情報リスクマネジメント、リスクの発見演習 資料配布、ケース演習 (DVD放映)</p> <p>第12回 セクハラ・パワハラ ケース演習 (DVD放映)</p> <p>第13回 ERM 資料配布 (ポートフォリオ、全社的リスク管理)</p> <p>第14回 学生による研究発表 グループ発表</p> <p>第15回 危機管理 危機管理のシミュレーション体験 (海外誘拐編)</p>			
<p><講義の進め方></p> <p>理論を説明してから、ケース等の討議するのを基本とする</p>			
<p><準備学習内容></p> <p>講義内容にテキストの対応章がある回はテキストを予習すること その他は、適時資料を配布する等指示する</p>			
<p><教科書及び教材></p> <p>『保険とリスクマネジメント』 ハリントン&ニーハウス 東洋経済新報社 6,000円+税 (中古本でも構わないので購入することが望ましい)</p>			

<p><参考書> 『戦略的リスク管理入門』 ジェームズ・ラム 勁草書房 6,000円＋税 『テロ・誘拐・脅迫 海外リスクの実態と対策』 加藤晃、他 同文館出版 2,200円＋税</p>
<p><成績評価方法> 授業貢献30%、中間テスト30%、研究発表（グループ）40% なお、欠席6回以上は成績評価しない。</p>
<p><履修条件> 特になし。</p>
<p><DVDによる視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー> 非常勤講師のため事前に e-mail でアポイントメントを取ってください。</p>
<p><その他> 一言： リスクは無くすものではありません。そんなことをしたら利益までなくなります。 リスクは適切にコントロールすべきものです。</p>

- ※4月 14日（土） 2限、3限、4限
- 6月 9日（土） 1限、2限、3限、4限
- 6月 30日（土） 1限、2限、3限、4限
- 7月 14日（土） 1限、2限、3限、4限